

DACにはその目的や活動などを定めるマンデートが設定されており、現在のものは何と50年前の1960年に策定されたものです(注1)。これはDAC設立時に策定されたマンデートであり、過去50年間、これは一度も改訂されていません。つまり、DACが設立されて以来、世界の状況が大きく変わってきているのに関わらず、DACは変わらず同じマンデートを基に活動してきていることになります。今年、このDACマンデートを改訂するための議論が行われ、合意に至りましたので、来年からは新しいものが用いられることになりました。今回はこのDACマンデートの改訂についてご紹介します。

まず、なぜ過去50年間改訂されていなかったマンデートを改訂することになったのでしょうか。それは、2004年のOECD理事会にて、それまでは失効期限がなかったDACを含む複数の委員会のマンデートに、2008年末までの失効期限が定められたためです。ただし、評価作業を実施中であったDACについては、2010年末までに延長されました。したがってDACが今後も活動を続けるためには、2011年からのマンデートを策定し、合意する必要があります。ちなみに、「今後10～15年先を見据えたDACのあり方を検討する」ために、2008年から2009年にかけてDACリフレクション作業が行われましたが、同作業の結論からも、現在の状況に合わせてDACマンデートを改訂すべきとの勧告がなされていました(注2)。

次に、では50年前に策定されたマンデート(注3)と2011年からのマンデート(注4)はどう違うのでしょうか。つまり何が変わったのでしょうか。主な変更点として以下の4点が挙げられます。

- 具体的活動が明記された。現行マンデート上では不明確であったため、DACリフレクション作業に基づいて3つの中核的活動(援助統計、援助審査、援助の質の向上)が明記されました(一番下のDACマンデート改定版概要のIの a, b, c)。
- 新しい概念が追記された。DACリフレクション作業勧告に基づき、「グローバル援助構造(global aid architecture)」、「グローバル公共財」、「開発のための政策一貫性(policy coherence for development)」が追記されました(Iの d, e)。
- 招待できる機関の種類が増えた。マンデート上、DACはこれまでも非メンバー国や国際機関を会合に招待することができましたが、これに民間団体と市民組織が追加されました(Iの f)。
- 分散して記載されていたDACの目標が一ヶ所に纏められ、改めて整理された(I)。

最後に、このマンデートの更新により、DACの活動が大きく変わってくるということは想定されていません。しかしながら、50年前のマンデートと今回の改定版を見比べることで、DACの関心事の変化、また開発援助の移り変わりが読み取れるのではないかと思います。なお、今回のマンデートは5年間有効ですので、2015年には再度議論されることになります。

DACマンデート改訂版概要(※序文など省略)

I DACのマンデートは、貧困層重視の経済成長を含む持続的開発、貧困削減、開発途上国の生活水準向上、及びどの国も援助に頼らない未来に貢献するため、開発協力と他の政策を促進すること。このためにDACは以下を行う。

- a 資金モニタリング、分析、報告、及び促進
- b 開発協力の政策と実施のレビュー
- c 開発援助の質と効果向上のため分析、ガイダンス、及び事例の提供
- d グローバル開発構造の分析
- e グローバル公共財と開発のための政策一貫性の視点の促進
- f 非メンバー国、国際機関、民間団体、市民組織への関与と招待

II DACはメンバーに対して勧告できる

(パリDAC通信担当:上野 修平)

注1: 1960年に策定されたものは、正確にはDACの前身のDAG(Development Assistance Group)に対するマンデートですが、DAGは1961年にDACに改組されており、DAGのマンデートはそのままDACに引き継がれました。詳細は<http://www.oecd.org/dataoecd/3/38/1896808.pdf> 参照。

注2: <http://www.oecd.org/dataoecd/14/1/43854787.pdf>

注3: <http://www.oecd.org/dataoecd/3/38/1896808.pdf> の8頁と10頁参照。

注4: [http://www.oecd.org/officialdocuments/publicdisplaydocumentpdf/?cote=DCD/DAC\(2010\)34/FINAL&docLanguage=En](http://www.oecd.org/officialdocuments/publicdisplaydocumentpdf/?cote=DCD/DAC(2010)34/FINAL&docLanguage=En)